

安全のため必ずお守りください

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



「必ずアース工事をおこなってください」を示します。






「必ずしてください」を示します。



「禁止」（しないでください）を示します。

警告

	<p>アース工事は必ずおこなうこと アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。 (電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)</p>	 <p>定格容量に合った（200V用）のコンセントを単独回路で使用する こと プラグの定格が30Aの場合は200V-30Aのコンセントをご使用ください。 他の器具と併用すると配線部が異常発熱して発火することがあります。</p>
	<p>コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしないこと コードが破損し、火災・感電の原因となります。</p>	

■電気配線工事は必ず電気工事登録業者に依頼すること

自分で工事され、不備があると感電や火災の原因になります。

■設置するときは、火災予防条例に基づいて、可燃物との離隔距離を必ず守ること

距離が近いと火災の原因になります。

■電源電線およびアース線は、プラグをはずして直結しないこと

漏電やショートにつながることもあり、感電や発火の原因になります。

■プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

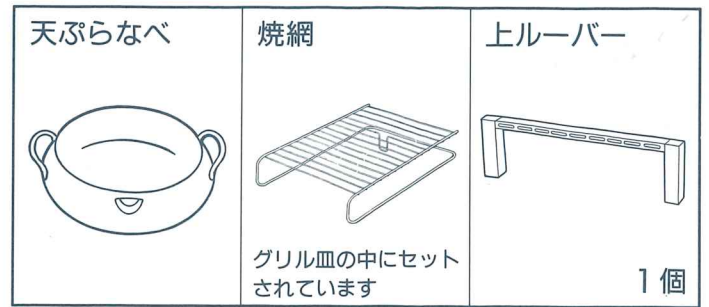
■設置工事説明書をよく読み、正しく確実に工事すること

不備があった場合、感電や火災、けがなどの原因になります。

設置工事をされる方へのお願い

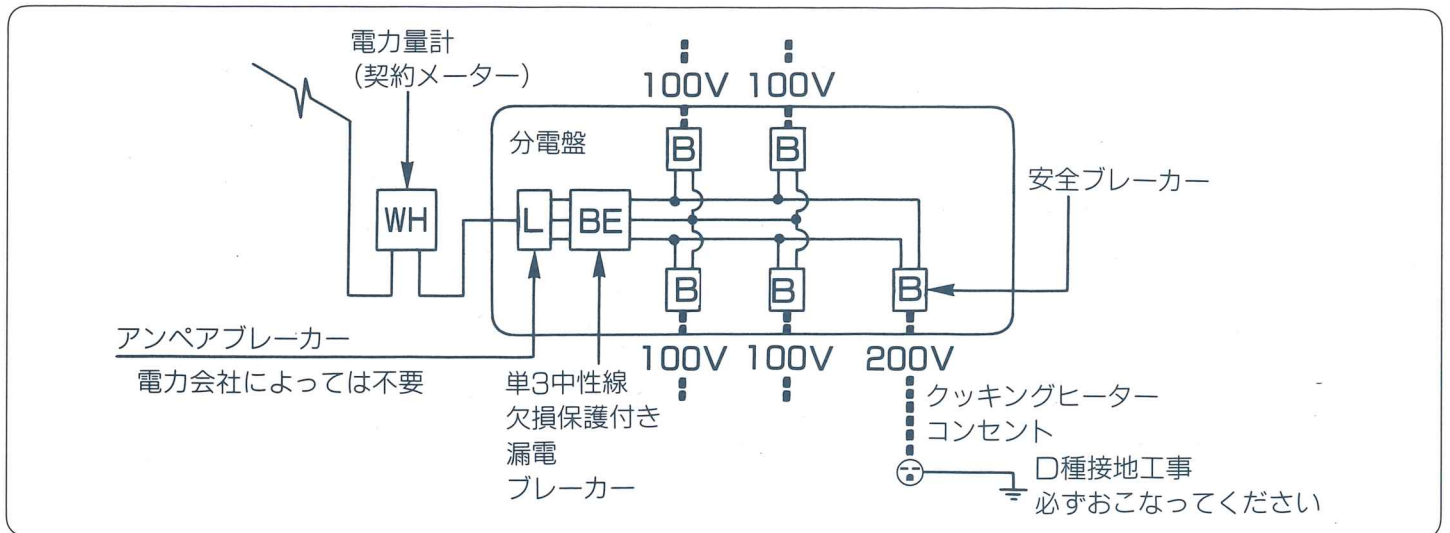
- この器具は、適切な電気工事と設置がされていませんと性能が十分発揮できないばかりか、過熱などの危険が生ずる場合がありますので、この説明書をよくお読みのうえ、適切な工事をお願いいたします。
- 電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方がおこなってください。
- 工事完了後は、必ず確認チェックをおこない、お客様へご説明ください。
- この説明書は、必ずお客様へお渡しください。
- 同梱部品を確認してください。

同梱部品の確認



单相200V専用コンセントの設置

●専用回路の設置

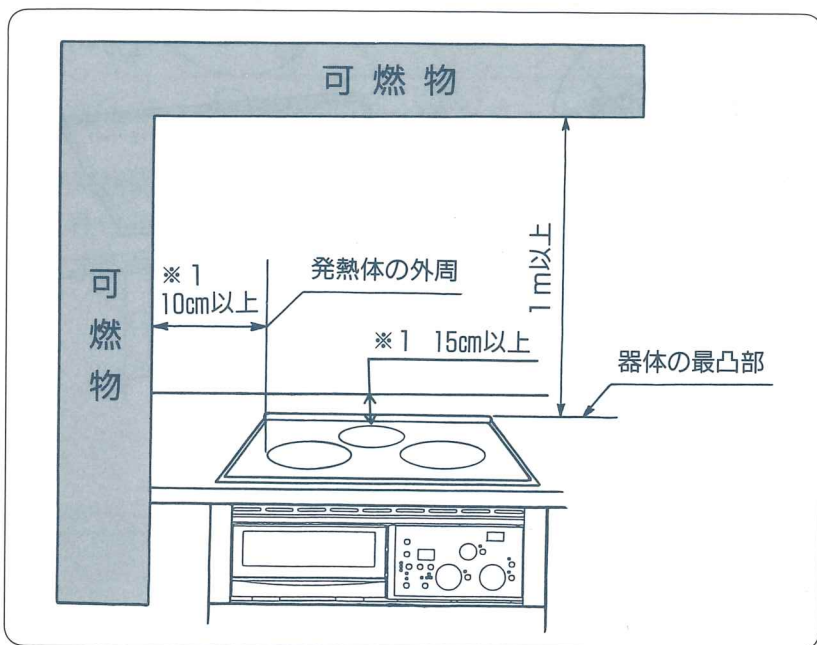


- クッキングヒーター用のコンセントは、規格で次のようなものが標準品となっていますので、事前にご確認の上、設置してください。

器具の容量	電線の太さ	コンセントの形状
30A	φ2.6mm	 单相200V用(接地極付) 250V-30A

設置場所の確認

- 火災予防条例、電気設備技術基準第182条に従って設置してください。
- カウンタートップは熱硬化樹脂化粧板（JIS・K・6903）と同等以上の耐熱性のある物を使用してください。
ニス引きのものは変色しますので使わないでください。
- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備技術基準第182条により義務づけられています。）
- 製品は水平に設置してください。
- 製品は火災予防上、可燃物との間を図のように離して取り付けてください。

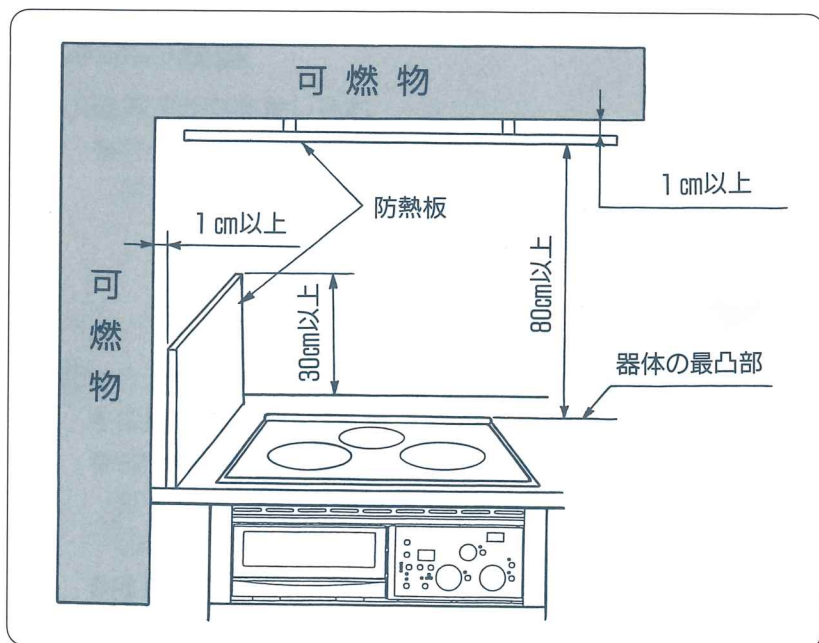


※1

1 kWを越え2 kW以下……………15cm
(IHの場合には……………10cm)

☆製品の前面はできるだけ広く（60 cm以上）あけて通行時や冷蔵庫、家具等の扉が当たらないようにしてください。

- 上記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください。



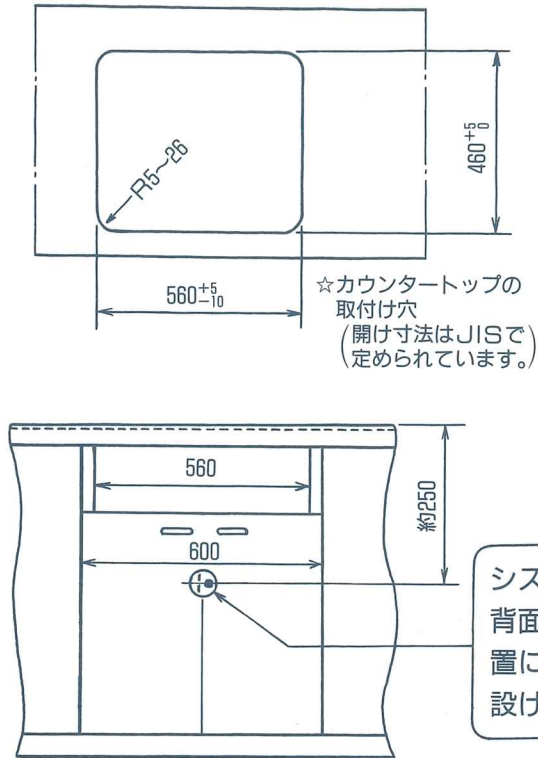
☆防熱板はこれを設けたとき、機器周囲の木壁温度が室温35°Cの時、100°Cを越えない断熱性を有すること。

衝撃等によって変形のないよう補強してください。

システムキッチン加工寸法図

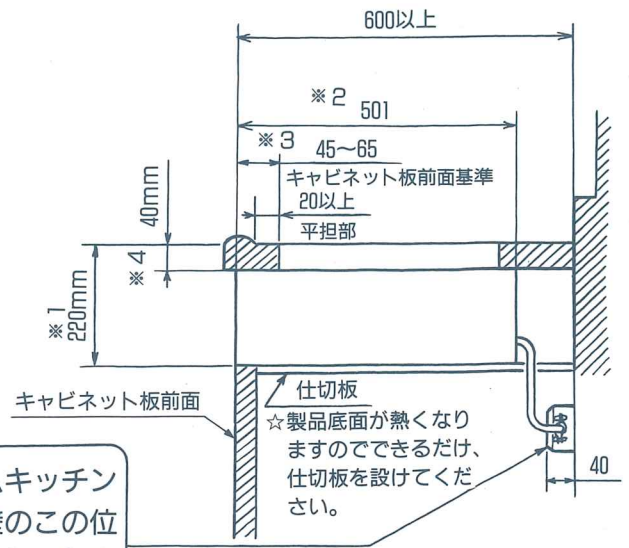
単位：mm

● カウンタートップ穴寸法



● 側面図

● □ 部分への突起は不可。

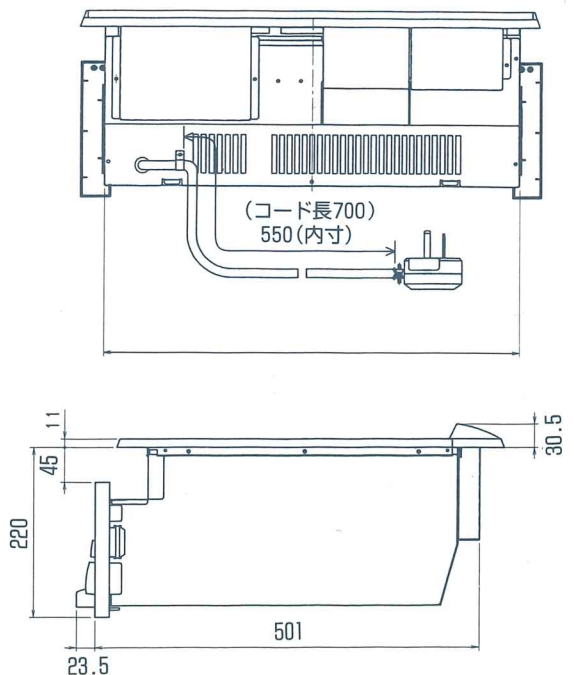
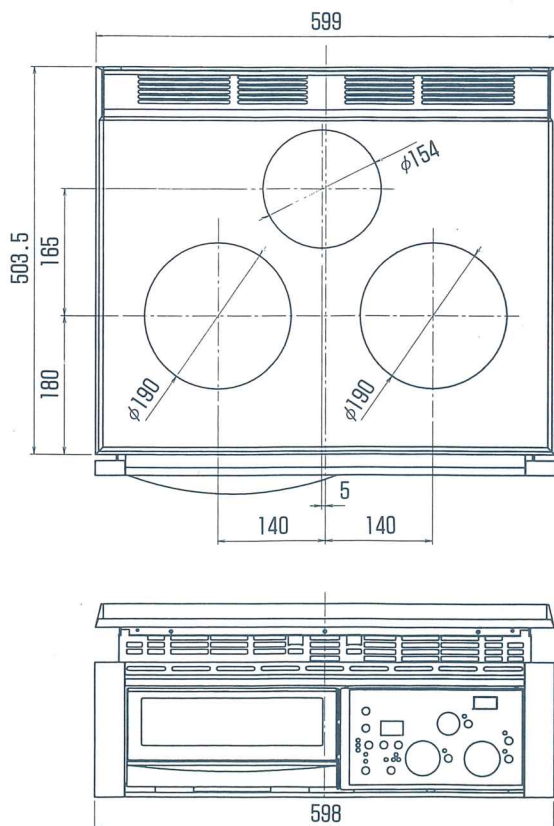


- ☆※1、※2の寸法は製品寸法ですからこの部分に突起物がないようにしてください。
- ☆※3の寸法はカウンタートップの穴位置の基準を示し、この範囲であれば設置できます。

- ☆※1が270の場合には、別売の下ルーバー(形式：HT-D4F)がありますのでご準備ください。
- ☆※4が30の場合には、別売の上ルーバー(形式：HT-D4E)がありますのでご準備ください。

製品寸法図

単位：mm



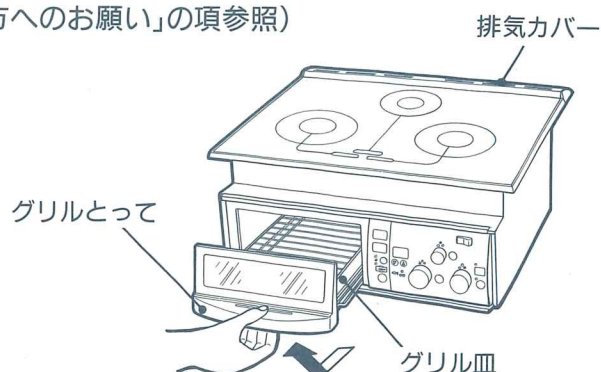
設置方法

ブレーカーは必ずしゃ断して工事してください。

※金属端面部が多いため、けがをしないように注意してください。

1 設置前の準備

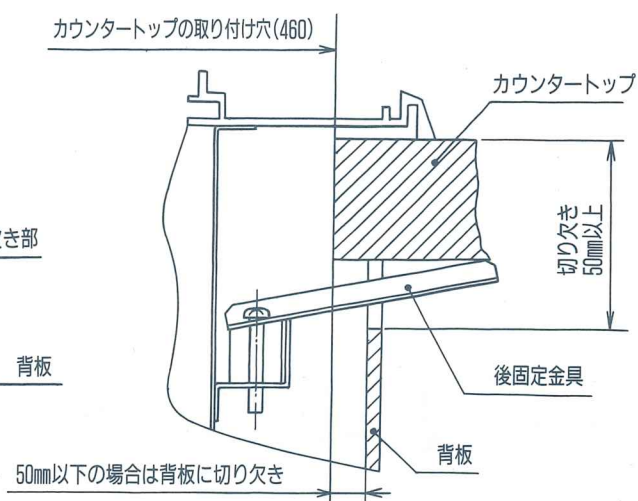
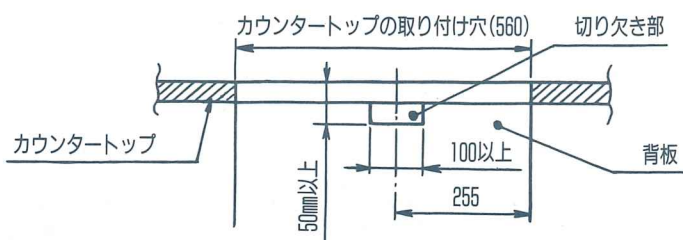
- ①付属品を確認する。(3ページの「設置工事をされる方へのお願い」の項参照)
- ②グリル皿を取り外す。
 - グリルとってを持って引き出し、そのまま斜め上に引き上げる。
- ③排気カバーを取り外す。



キャビネットの後方に背板がある場合、次のような加工を行ってください。

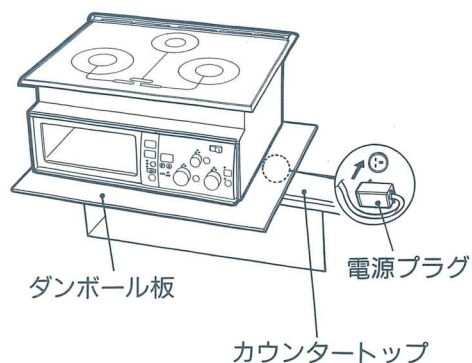
- 背板位置がカウンタートップの取り付け穴から50mm以下の場合、後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設けてください。

〈システムキッチン正面断面図〉



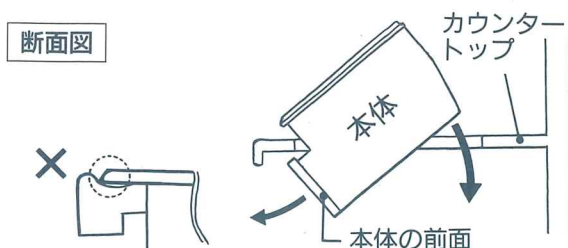
2 本体の設置

- ①電源プラグを差し込む
 - カウンタートップに傷を付けないように包装用のダンボール板を敷いてください。



- ②カウンタートップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

- はめ込み時は、前面のスイッチやパネルをカウンタートップに当てないでください。(スイッチやパネルに傷が付く原因となります)
- 本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まないでください。

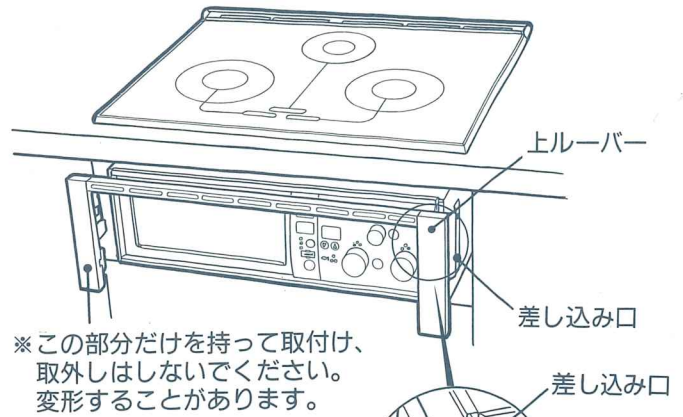


※膨らみに乗り上げないように、フラット部にセットしてください

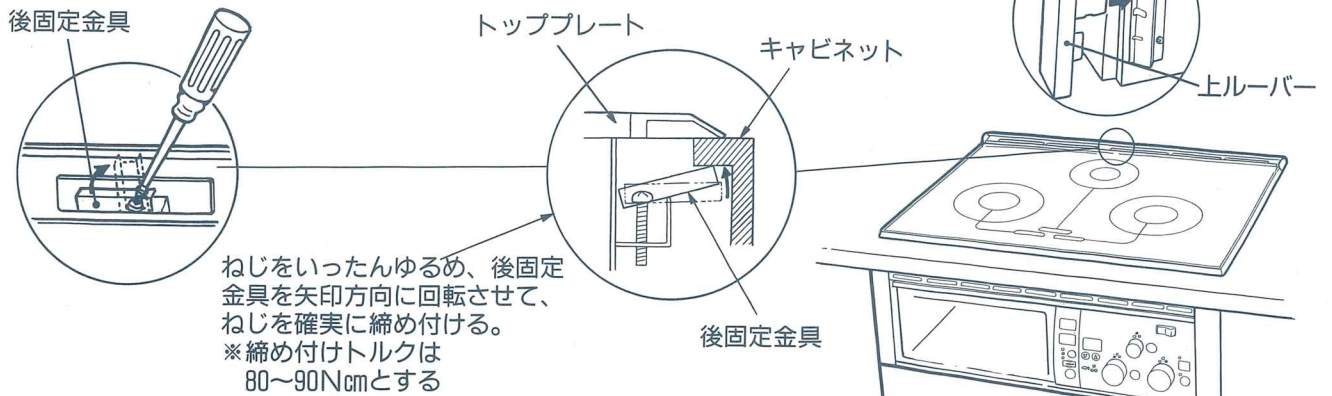
設置方法

③上ルーバーを取り付け本体の位置を調整する

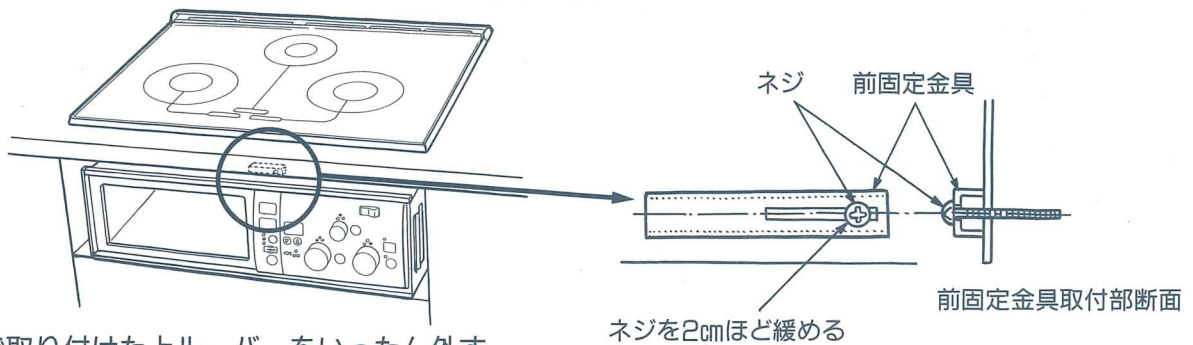
- 側面前側の差し込み口に、上ルーバーを差し込む
- 上ルーバーとキャビネットの左右側面とのすき間が均一になるように、本体位置を調整する。
- キャビネットの扉面に本体の前面が合うように、本体の位置を調整する。



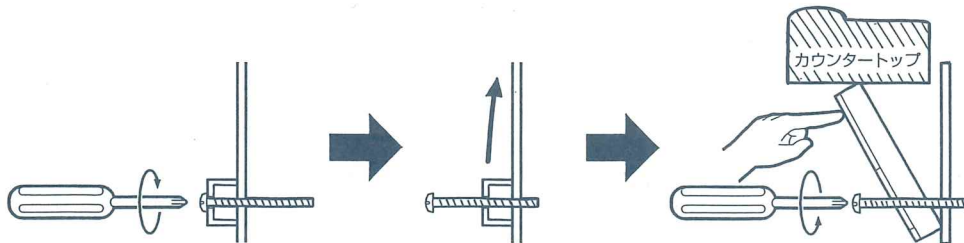
④後固定金具(本体に取り付けられている)を固定する



⑤前固定金具 (本体に取り付けられている) を固定する。(中央1ヶ所)

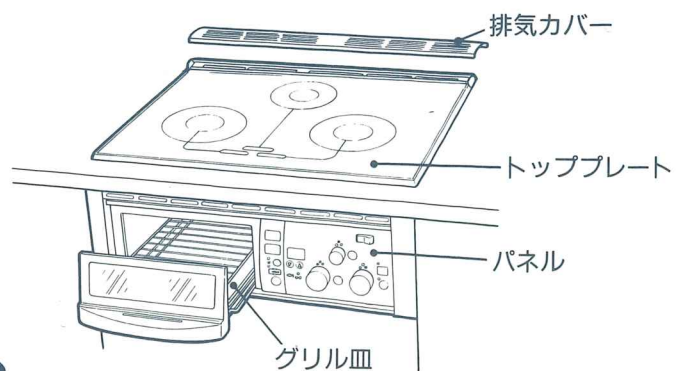


- ③で取り付けした上ルーバーをいったん外す。
- ネジを2cm程緩める。
- 前固定金具を緩め、立ちあげる。
- カウンタートップに挟み込み、指で前固定金具を抑えながらネジを締め付けて固定する。



3 グリル皿、上ルーバー、排気カバーの取付け

- 排気カバーを取り付ける。
- 上ルーバーを再度取り付ける(2-③項参照)
- グリル皿を取付ける。



工事完了後の確認

- 通電する前にグリル皿内部、ヒーターの上に梱包材がないことを確認してください。
- 設置工事終了後、次の手順で確認しチェックしてください。

	確認項目	チェック欄	
梱包材の取りはずし	グリルドア、操作パネル部の止めテープを取りはずしたか確認してください。		
	グリル皿内部、トッププレート上に梱包材がないか確認してください。		
電気工事	接地工事		
	漏電ブレーカーの設置		
	電源プラグの接続		
電気試験	①電源電圧が単相200Vであることを確認してください。		
	②電源スイッチを入れてください。 ➡ 電源ランプ0.00が点灯する。		
	③なべにコップ1杯程度の水を入れて右ヒーターの中央に置き、右ヒーターの入/切キーを約1秒間押してください。 ※なべをのせないで通電しません。	➡ トッププレートの右ヒーター火力表示ランプ(6ヶ)とパネルの右ヒーター通電ランプが点灯し、なべが加熱される。 ➡ 排気口から風が出ている。 (風は左右の排気口からしか出ません。)	
	④なべにコップ1杯程度の水を入れて左ヒーターの中央に置き、左ヒーターの入/切キーを約1秒間押してください。 ※なべをのせないで通電しません。	➡ トッププレートの左ヒーター火力表示ランプ(6ヶ)とパネルの左ヒーター通電ランプが点灯し、なべが加熱される。 ➡ 排気口から風が出ている。 (風は左右の排気口からしか出ません。)	
	⑤中央ヒーターの入/切キーを約1秒間押してください。	➡ トッププレートの中央ヒーター火力表示ランプ(4ヶ)とパネルの中央ヒーター通電ランプが点灯し、約4秒後にヒーターが赤熱する。	
	⑥グリルヒーターの入/切キーを約1秒間押してください。	➡ 焼きかげん表示ランプの「強」とグリルヒーター通電ランプの下側が点灯し、約30秒後にグリルヒーター通電ランプの上側に点灯が切り換わる。 ➡ 排気口から風が出ている。 (風は左右の排気口からしか出ません。)	
終了		終了	

- ★電気試験後、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
- ★③④で付属の天ぷらなべを使用したときは、水分を取ってから軽く食用油をぬってください。サビの原因になります。
- ★この設置工事説明書は必ず、お客様にお渡しください。

株式会社 日立空調システム

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-23-2
(大木須田町ビル)
電話 (03)3255-7201

株式会社 日立ホームテック

〒105-8430 東京都港区西新橋 2-15-12
電話 (03)3502-2111

株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋 2-15-12
電話 (03)3502-2111